

陶都有田国際交流協会だより

交流の絆

陶都有田国際交流協会

〒844-8615 佐賀県西松浦郡有田町岩谷川内2丁目8番1号（有田町役場商工観光課内）

TEL (0955)43-5068 FAX (0955)43-2107

E-MAIL syoko@town.arita.lg.jp ホームページアドレス <http://www2.saganet.ne.jp/arita/>

2005 主な国際交流事業

●有田窯業大学校がドイツの大学と交換留学制度を開始

新たな交流の幕開け

佐賀県立有田窯業大学校が2005年5月、ドイツのハレ芸術デザイン大学と「交換留学に関する協定」を結びました。この制度は学生に海外の陶磁器に関する知識や企画デザインなどの技術を習得させようというもの。国際的な感覚を持った人材を育成することによって、窯業界の振興と国際交流を深めることを目的としています。

窯大に第1回目の留学生としてやってきたのは、大学5年生のカトリン・ルートウィッヒさん。デザインを学ぶために2005年6月6日から9月28日まで4ヶ月間滞在しました。「有田とドイツのやきもの会社」を卒業論文のテーマにしていることもあって、滞在中は町内や近隣の窯元見学に積極的に出かけました。

そして窯大からの第1回目の派遣者は研究科の石原亮太さん（波佐見町）です。2005年8月6日から2006年2月3日まで6ヶ月ドイツに滞在し、帰国後は学校内や佐賀大学で帰国報告会を開き、大学生活について発表されました。

有田と姉妹都市のある国ドイツの学校と窯大の交換留学制度により、有田の新たな国際交流がスタートしました。すでに、2回目の留学生として、シュテッフィ・アウヘンパウアーさんが3月26日に有田にやってきています。



▲窯大へ留学生としてやってきたカトリンさん



▲ハレ芸術デザイン大学で作品発表をする石原亮太さん



留学生石原亮太さんに帰国インタビュー



▲大学の仲間といっしょに記念撮影

地元を出て外の世界を見たいと思って、交換留学制度に手をあげました。ドイツ語は現地に行ってから勉強しましたが、友達ができただけで少しずつ習得することができました。未知の世界に出ることには不安はありましたが、甘えの許されない環境に自分をおくことで、広い視野で物事を考えられるようになったと思います。

留学先では主にデザインの勉強をしました。作品を見る人に表面的な部分だけでなく、その裏側にこめた思いを伝えられるようなもの作りが求められました。窯大がドイツの大学と交換留学制度を結んだことは、学生だけでなく、地元の窯業界にとっても、すごく良いことだと思います。ドイツの学生と接してみて若い人にとって有田焼や波佐見焼の知名度が低いことを実感しました。だからこそ学生どうしが交流することで、有田のことを知ってもらえる機会になると思います。

平成17年度 有田町内の国際交流の動き

4月

- ドイツ語講座開講(講師：7代目国際交流員 コネリア・ライヤー氏 月4回)
- 有田ロータリークラブが「米山記念奨学事業」として佐賀大学留学生に奨学金を授与(4月～3月)
- 韓国公州市で開催された粉青沙器祝祭へ有田の陶芸家が参加(7日～12日：有田陶芸協会副会長河口純一氏他4名)
- 韓国利川市で第3回世界陶磁ビエンナーレの開幕式に出席(22日～23日、町長ほか1名)
- 有田館で「日本におけるドイツ年」記念パネル展を開催(29日～5月5日) 写真
- 玄海人クラブ日韓交流陶磁展(29日～5月30日：有田商工会議所・有田館)

5月

- 陶祖祭参列のため(社)韓国陶磁器文化振興協会関係者など来有(4日：韓国陶磁器文化振興協会会長金基衡氏他14名)
- 有田窯業大学校がドイツのハレ芸術デザイン大学と交換留学に関する協定を締結(16日)
- 第18回水安堡(スアンポ)マラソン大会へ参加のため訪韓(28～30日：有田陸上競技協会8名)

6月

- 窯大に第1回目の留学生としてカトリン・ルートウィッヒさんが来日(6日～9月28日)
- 陶都有田国際交流協会理事会(24日)
- 肥前有田ライオンズクラブからライオンズ国際大会(香港)へ参加(27日～7月1日：2名)

7月

- 陶都有田国際交流協会総会(1日)
- 玄海人クラブ韓国大学生訪日研修受け入れ(19日～25日：韓国人学生7人)
- 陶山神社の陶祖李参平の碑(日韓友情年記念碑)が完成し除幕式(25日) 写真
- 少年少女韓国訪問研修(26日～29日、小学6年生83名、引率者21名)

8月

- 玄海人クラブ韓国青少年訪日研修受け入れ(1日～6日：韓国人学生30人)
- 有田工業高等学校が韓国利川市の韓国陶芸高等学校と姉妹校の交流書を交わす。秋には両校の作品交流として互いの展示会で出品参加をする(2日)
- 有田窯業大学校の学生石原亮太さんがドイツのハレ芸術デザイン大学へ留学(6日～2月3日)
- 「日韓友情年2005記念」玄海人音楽祭(20日：出演者13団体250人) 写真
- 陶都有田国際交流協会国際映画DVD上映会を開催(25日：12月まで毎月1回)

9月

- 陶都有田国際交流協会理事会(26日)
- 有田窯業大学校韓国研修旅行(26日～10月1日：専門課程2年生 16名 引率者4名)

10月

- 陶都有田国際交流協会がドイツ学教室や有田ジュニアFCと有田ポーセリンパークで「ドイツフェスタ」を開催。ドイツの映画やキッカーゲーム、ドイツ料理教室などを通して、ドイツの文化を紹介(2日：来場者約300名)
- 中国景徳鎮国際陶磁博覧会へ有田町長らが出席(10日～14日：篠原町長ほか1名)
- 有田商工会議所会頭らが中国上海ミッションへ(19日～22日：山口会頭ほか18名) 写真

11月

- 第53回陶都有田ロードレース大会へ韓国水安堡・錦山(クムサン)から来有(26日～27日：28名)
- ドイツ学教室メンバーが「第1回秋の有田陶器市」でドイツ店をオープン(23日～27日)

12月

- 有工放送部が日本におけるドイツ人「ショートフィルムコンテスト」でグランプリを受賞。東京の表彰式に出席。生徒3人は2月にベルリンに招待される(9日：有工生3名) 写真

1月

- 玄海人クラブ韓国青年訪日研修受け入れ(4日～9日：韓国人学生20名)
- 韓国 佛国寺初等学校関係者来有(18日：教諭 朴奉在氏他2名)
- 肥前有田ライオンズクラブ冬期交換留学生帰国報告会(15日：1名)

2月

- 玄海人クラブ韓国青年訪日研修受け入れ(6日～13日：韓国人学生12名)
- マイセン市の保育園からしらかわ保育園へ初めての文通が届く(22日)
- 玄海人クラブが武雄市で日韓出品作家交流展(24日～3月5日)
- 玄海人クラブが武雄市で日韓陶芸フォーラム(24日)
- ドイツ学教室メンバーが「第2回有田雛のやきものまつり」でパネル展などを紹介する店「ドイチエマルクト」をオープン(2月25日～4月3日)

3月

- 有田窯業大学校で交換留学生石原亮太さんの帰国報告会(2日)
- 有田雛のやきものまつり英語ツアー(18日：県内外に住む外国人21人)
- 第2回目の留学生としてシュテツフィ・アウヘンバウアーさんが来日(26日)
- マイセン青少年友好親善ホームステイ派遣事業(27日～4月5日：青少年8人、引率者3人)



陶器市期間中に有田館で有田とマイセンの交流を紹介するパネル展を実施



陶山神社李参平の碑前に新しく完成した日韓友情年記念碑の除幕式



日韓友情年を記念して開催された玄海人音楽祭。300人の観客でにぎわった



中国上海ミッションで現地市場の説明を受ける参加者



法政大学主催のショートフィルムコンテストでグランプリを受賞した有工生

国際交流員 CIR コニーさんの 活動



有田町7代目国際交流員のコネリア・ライヤーさんは役場商工観光課で働いています。
2004年8月にドイツのライブツィヒ市から有田町にやってきました。

有田町が姉妹都市を結んでいるマイセン市など外国との交流におけるドイツ語や英語の文章の翻訳や、訪問者の通訳などを行なっています。ここで平成17年度の主な活動を紹介します。



ドイツ学教室 (毎月)

ドイツに興味を持っている人を対象にドイツ学教室を開催
※4月からのメンバー募集中!

- ・日 時 第1・第3火曜 19:00~20:30
- ・場 所 有田ゴルフガーデン(応法)の事務室
- ・詳しくは 有田町役場商工観光課 TEL43-5068

広報ありた・佐賀新聞でコラム掲載

ドイツの社会問題や文化、祭りなどについて紹介するコラムです。17年度は「日本におけるドイツ年」を記念して、毎月クイズを実施しました。このほか、17年4月から18年2月までは佐賀新聞の「甘くち辛くち」でコラムを掲載しました。

有田窯業大学校留学生のサポート(4月~9月)

ドイツのハレ芸術デザイン大学から有田窯業大学校に留学したカトリン・ルートウィヒさんに、文書翻訳、うちあわせ・講演・施設見学通訳、日常生活サポートなどを行いました。

有工放送部ショートフィルムコンテスト

佐賀県立有田工業高等学校の放送部の生徒といっしょに法政大学主催の日本におけるドイツ人「ショートフィルムコンテスト」出品に参加。作品は全国でグランプリを受賞しました。

有田中学校のドイツ語講座 (毎週)

週に2回、有田中学校の選択授業でドイツ語を指導

有田小学校英語クラブ(毎月)

小学生のクラブ活動でゲームを通して英語とドイツ語を指導

保育園ドイツ文化教室 (毎月) (写真A)

しらかわ・すがの・ほんまちの3つの公立保育園でドイツ文化教室を実施。主に年長組を対象にドイツの保育園で流行しているゲームや歌、工作を紹介して、ドイツ語のあいさつなども教えました。2月にはマイセン市の保育園から手紙が届き、保育園どうしの文通がスタートしました。 (A)



国際映画DVD上映会 (8月~12月)

月に一回、生涯学習センターでドイツや韓国の映画を上映。国際的な理解を深めるために、意見交換会も開きました。

※ドイツ映画上映会のご案内

ドイツ学教室主催でドイツ映画上映会を毎月第2火曜日に開催中です。入場無料で手作りケーキのおもてなしあり。

- ◇場 所 有田町生涯学習センター視聴覚室
- ◇日 時 毎月第2火曜 18:30~21:00
- ◇詳しくは 有田町役場商工観光課 TEL43-5068

ドイツフェスタ (10月) (写真B)

ドイツでは秋の収穫祭「オクトーバーフェスタ」が有名です。この雰囲気をも有田で味わってもらおうと、有田ポーセリンパークでドイツフェスタを開催。子ども向けの映画上映会、ゲームコーナーの設置、太鼓・琴演奏、展覧会などの多彩な催しを実施しました。町内外から約300人がつめかけました。

有田雛のやきものまつり英語ツアー(3月)(写真C)

雛まつりイベント期間中に、外国人に有田の魅力を知ってもらうために英語ツアーを開催。昨年に引き続き2回目の開催には雨にもかかわらず県内外在住の外国人や英語を話せる日本人など21人が参加しました。有田ならではのやきもの製の雛人形の見学や絵付け体験、有田の郷土料理を紹介しました。

マイセン青少年友好親善交流事業(3月)

3月27日から4月4日まで有田の青少年など11名がマイセン市を訪問し、ホームステイ交流事業が実施されます。事業の円滑な推進に向けて、連絡調整や通訳をはじめ、事前学習会に講師として参加しました。また昨年の陶器市期間中には有田館で、有田マイセン青少年友好親善交流パネル展を行い、来館者に交流の歴史を紹介しました。

(C)



●陶都有田国際交流協会とは

国際都市ありたを目指して

有田町はやきものを通して、3つの国と関係があります。姉妹都市関係にあるのがドイツのマイセン市。友好都市を結んでいるのが中国の景德鎮市。そして友好団体の関係にあるのが韓国陶磁器文化振興協会です。

陶都有田国際交流協会は、有田町と外国都市との産業、文化教育等の国際交流事業を促進することを目的に活動しています。

□設立

平成元年6月に設立。国際親善に関心をもつ町内事業所や団体、学識経験者などで構成。事務局は有田町役場商工観光課

□活動

町民への国際交流の趣旨の普及や、各種親善事業の実施などを通して国際都市「ありた」を目指して活動している。

●2005年 陶都有田国際交流協会の主な活動を紹介

○ドイツフェスタを開催

2005年4月から2006年3月まで全国各地で「日本におけるドイツ年」の記念イベントが実施されました。このキャンペーンにあわせて、陶都有田国際交流協会では10月2日に有田ポーセリンパークで「ドイツフェスタ」を開催しました。町内のドイツ学教室や有田ジュニアFCメンバーなどの協力のもと、ドイツの映画上映会やキッカーゲーム、ドイツ料理教室などを実施。町内の親子連れをはじめ、県内在住の外国人など約300人の人出で賑わいました。



▲ドイツフェスタで大人気だったキッカーゲーム



▲映画上映会のあとに実施した意見交換会

○国際映画DVD上映会

映画を通して外国文化を紹介することを目的に、8月から12月まで国際映画上映会を開催しました。毎月1回、ドイツや韓国の映画を紹介し、国際交流員コネリア氏のコーディネートで意見交換会も実施。有田にいながらにして、ひとときの外国の映画館気分を味わっていただきました。

○英語版・有田観光ガイドマップを作成

近年、有田を訪れる外国人観光客が増えています。そのお客さんたちに有田のことを紹介するときに、ぜひ英語版観光ガイドマップをご利用ください。

●ボランティア通訳者・ホストファミリーを募集します

外国人と仲良くなりたい人、外国人を家庭に受け入れ、異文化体験してみたい人などを募集しています。登録していただいた人は必要なときに対応していただきます。

◇詳しくは 役場商工観光課まで TEL43-5068

●陶都有田国際交流協会ホームページ

協会のホームページを開設しています。これまでの交流の歩みや事業紹介、また外国人観光客のための観光案内（英語・ドイツ語版）も掲載しています。みなさんからのアクセスお待ちしております。



<http://www2.saganet.ne.jp/arita/>

編集後記

「交流の絆」は有田の国際交流活動を町民の皆さんに知っていただくことを目的に、年に1回発行しています。陶都有田国際交流協会はもともと旧有田町の活動だったため、今回紹介したのはほとんどが合併前の旧有田町の内容になっています。しかし、旧西有田町はアジア田植唄フェスティバルなど、以前から草の根的な国際交流活動が行われています。来年はエリアを広げた新有田町の活動を紹介できると思います。ご意見・ご提案などありましたら、どんどんお寄せください。